

【参考】

令和7年度青森県立高等学校入学者募集人員（見込み）について

令和7年3月の中学校卒業生数は、9,300人と見込まれます。このことを踏まえ、現段階においては、令和7年度の入学者募集人員について、以下のとおり見込んでおります。

なお、令和7年度における募集人員については、来年度の学校基本調査のデータ等を踏まえ決定する予定であり、中学校卒業予定者数の変動等により変更が生じる可能性があります。

<全日制課程>

東青地区（40人減）

・青森南高等学校	普通科	1学級減（40人減）
----------	-----	------------

西北地区（35人減）

・五所川原農林高等学校	森林科学科	募集停止（35人減）
	環境土木科	募集停止（35人減）
	環境科学科	新設（35人増）

上北地区（40人減）

・野辺地高等学校	普通科	1学級減（40人減）
----------	-----	------------

※ 本資料には、募集人員の増減を見込んでいる学校（学科）のみ記載している。

地域校への対応について

青森県立高等学校教育改革推進計画においては、学校規模の標準（1学年当たり4学級以上）を満たさない高等学校のうち、募集停止等により高等学校への通学が困難な地域が新たに生じる高等学校を地域校として配置し、地域校の規模・配置については、基本方針に定める基準等により対応することとしている。

六ヶ所高等学校及び大間高等学校については、第1期実施計画から引き続き、第2期実施計画においても地域校として配置し、鱒ヶ沢高等学校及び三戸高等学校については、第2期実施計画の開始年度である令和5年度から地域校として配置している。

< 2学級規模の地域校 >

基本方針に定める基準等		
入学者数が1学級規模の募集人員である40人以下の状態が2年間継続した場合、原則として翌年度に1学級規模とする。		
学校名	入学状況	
	第1期実施計画	第2期実施計画
	令和4年度	令和5年度
大間高等学校	38人	50人

< 1学級規模の地域校 >

基本方針に定める基準等		
募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満（＝20人未満）となった場合、募集停止等に向けて、当該高等学校の所在する市町村等と協議する。		
なお、協議の際には、基準に該当した翌年度の募集停止を基本とし、通学が困難となる地域の生徒の通学について、当該高等学校の所在する市町村等と連携を図りながら、対応を検討する。		
学校名	入学状況	
	第1期実施計画	第2期実施計画
	令和4年度	令和5年度
鱒ヶ沢高等学校	(9人)	16人
六ヶ所高等学校	40人	33人
三戸高等学校	(26人)	32人

※ 鱒ヶ沢高等学校については、令和6年度の入学者数が20人未満となった場合、令和7年度募集停止に向けて、所在する市町村等と協議する。